

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2017年6月30日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部/国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ピアスカレッジ 現地言語: Pierce College
留学期間	2016年9月～2017年3月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	-年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年6月19日
明治大学卒業予定年	2019年3月

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	3,168	316,800 円	1クォーター(3か月)
宿舍費	2,100	210,000 円	1クォーター
食費	900	90,000 円	3 か月
渡航旅費	1,600	160,000 円	往復
その他	600	60,000 円	交際費(3 か月)
<b>合計</b>	<b>8,368</b>	<b>836,800 円</b>	<b>1学期あたりの費用(3か月)</b>

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	大学の寮
2)部屋の形態	<input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数1人)
3)住居を探した方法:	大学のホームページにて
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	私のルームメイトは香港人でした。ルームメイトとの仲は非常に良かったです。そのルームメイトとの仲の良さは相手の性格次第だと思います。
現地情報	
1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input type="checkbox"/> 利用した:
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	特に問題はなかったため相談はしませんでした。学校には International Office があり、トラブルが起きた場合は、そこに相談できます。
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	外務省の海外安全ホームページに登録し、そこから情報を受け取っていました。
4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	アメリカには様々なところに Wi-Fi があるので、全く困りませんでした。
5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	現地の Bank of America という銀行で、口座開設をし、その銀行の debit カードを使って買い物をしていました。
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	近所にアジアマーケットがあったため、基本的にありません。
7)授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)	指定された期日までに、学校にある Cashier に行き、クレジットカードを使用して支払っていました。
卒業後の進路について	
留学を通して生じた、今後の進路についての考えについて教えてください。	海外に行って、改めて日本の素晴らしさに気づきました。海外の人も日本の文化を素晴らしいと言ってくれましたが、まだまだ知られていないことが沢山あるため、日本の文化を広める仕事に就きたいと思っています。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
30単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位(未定) <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Public Speaking	パブリックスピーキング
科目設置学部・研究科	Communication Studies
履修期間	2016 冬学期
単位数	5
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が5回
担当教授	Metzger Frederick
授業内容	週に1度それぞれのテーマに合わせて、スピーチを3分間します。3分間のスピーチが5回と最後のスピーチが5分間で、計6回のスピーチがあります。
試験・課題など	毎週スピーチを自分の順番までに作ることが課題です。そのほかに試験は特にありません。
感想を自由記入	英語のスピーチをアメリカ人の前ですることはかなりプレッシャーでしたが、英語を話す度胸が付き、先生が留学生にとっても優しい方だったので、受けて良かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Sociology	社会学入門
科目設置学部・研究科	Sociology
履修期間	2016 冬学期
単位数	5
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が5回
担当教授	Jennifer Maclin
授業内容	現代の社会問題を取り上げます。先生の講義が中心なのですが、その先生のお話がとても面白いです。
試験・課題など	オンライン上で全3回の小テストを受けます。また、小テストの点数が悪くても Extra Points をもらえる課題があります。
感想を自由記入	私は、この先生の評判が良かったので授業をとりましたが、民族の違いやジェンダーなどに関する内容をわかりやすく面白く話してくれる先生でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
American Music	アメリカンモザイク
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	2016 冬学期
単位数	5
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)

授業時間数	1週間に50分が5回
担当教授	Mary Russell
授業内容	授業のテーマは、自分と違う文化、人種、性差を理解していくことでした。例えば、自民族中心主義の考え方や、なぜ肌の色が違う人種がいるのか、などです。様々な動画を見て、毎回グループごとにディスカッションを行い、意見を共有しました。
試験・課題など	Desi Landという1冊の本を毎週読み進めていくことが宿題でした。また、この本に関するレポートや小テスト、毎週の授業のレポートも宿題でした。
感想を自由記入	この授業は宿題が多く、授業中にディスカッションもあったので、私にとって、とても大変な授業でした。先生が非常に留学生に優しく、授業を受けることが楽しかったため、頑張れました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Death Dying Bereavement		死、死んでいくこと、死別について	
科目設置学部・研究科	Sociology		
履修期間	2017 春学期		
単位数	5		
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が5回		
担当教授	Kemp Alan		
授業内容	人は死んだらどうなるのか、死んだ人の親族や、親しい人への心の傷はどれほどのものなのか、またその心の傷をどうケアしていくべきなのかについて勉強しました。		
試験・課題など	全4回の筆記のテストがありました。自分の成績は毎回テスト後にわかるので、3回目のテストが終わった時点で自分の成績に満足していれば、最後のテストを受ける必要はありません。また、出席確認や Extra Points もあります。		
感想を自由記入	授業は基本的に、先生が板書をせず、ひたすら話していくスタイルだったため、授業についていくのがとても大変でした。また、授業の内容に特徴があるため、よく考えてから取るべきだと思います。私はあまり興味を持てなかったため、大変に感じました。先生はとても親切な方です。何か困ったことがあったら相談すると良いでしょう。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intercultural Communication		異文化間コミュニケーション	
科目設置学部・研究科	Communication Studies		
履修期間	2017 春学期		
単位数	5		
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が2回		
担当教授	Nichole Nicholson		
授業内容	名前の通り、異文化間コミュニケーションについて学びます。Popculture や High Culture Low Culture など、また、メディア情報の伝達の仕組みなどについても学びました。授業内では、先生の体験した様々な経験をその週のテーマに合わせて学生に共有してくれ、学生も自発的に、自身の文化の違いによって経験したことを話しました。時に、白熱したディスカッションとなり、面白かったです。		
試験・課題など	毎週 Journal という、エッセイのようなものを書きます。それに加え、小テストが全部で3回ありました。最後にはグループプレゼンで、今まで勉強したことを組み入れながら、自分たちで独自の文化を創造し、発表しました。		
感想を自由記入	この授業が Pierce で受けた授業の中で一番好きでした。先生や他の学生から聞く話は、日本人の私にはなかなか馴染みのないもので、新鮮でおもしろかったです。また、最後のプレゼンは、グループで行ったため、大変でしたが達成感がありました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Family and Intimate Relationship		家族及び親密な関係	
科目設置学部・研究科	Sociology		
履修期間	2017 春学期		
単位数	5		
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が5回		
担当教授	Jennifer Maclin		
授業内容	同棲、結婚、離婚、また性についての内容でした。この授業は日本ではなかなか学ばない内容だったので、とても衝撃的でした。		
試験・課題など	全3の小テストがありました。また、Extra Points もあり、テストの点数や出席が足りないときは、この Extra Points の課題を行い、点を稼いでいました。		
感想を自由記入	日本とは違う、アメリカの結婚、離婚に対する考え方を知りました。好きな先生だったのでこの授業をとりましたが、日本では教わらないことばかりでとても新鮮で面白かったです。		

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2015年 1月～3月	受験勉強
4月～7月	入学式、期末テスト
8月～9月	夏休み、TOEFL に向けて勉強
10月～12月	留学プログラム申込み、留学選考
2016年 1月～3月	選考発表、期末テスト
4月～7月	新学期、ビザ手続き、留学ガイダンス
8月～9月	アメリカ渡航
10月～12月	期末試験、サンクスギビングデー、クリスマス、ニューイヤーホリデー
2017年 1月～3月	期末試験
4月～7月	期末試験、日本帰国
8月～9月	夏休み、インターンシップ
10月～12月	未定

## 留学体験記

<b>留学しようと決めた理由</b>	小学生の頃から英語を学んでおいた方がいいと聞いていて、英語を話せるようになりたいと思い、高校生の頃にオーストラリアでホームステイをしてから、もう一度留学したいと思うようになりました。大学に入ってから、日本の文化を外国人はどう思っているのだろうと思い、留学して確かめたいと思ったことが理由の1つです。
<b>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</b>	私は、IEPの授業から受講したのですが、やはり日本にいる頃からもっとTOEFLのスコアを上げておくべきだったと感じました。特にリスニング力が大切だと感じました。そのため、留学して最初の頃は悔しい思いをしていました。英語力があれば、いろいろな人と話せるため、留学までに英語力はできるだけ上げておくべきだと思います。
<b>この留学先を選んだ理由</b>	このコミュニティカレッジは、4年生大学への進学率が高いと聞いていました。そのため、留学して勉強に集中できると思いました。また、ワシントン州にあり、単純に私は訪れたことのない都市だったことから、行ってみたいと思ったためです。
<b>大学・学生の雰囲気</b>	コミュニティカレッジには、様々な年代の学生がいます。また、ネイティブの人に加えて色々な国から来た人がおり、とても国際色豊かです。また、キャンパスは、それほど大きくはないため、コンパクトで移動がしやすいです。
<b>寮の雰囲気</b>	寮は基本的に色々な国から来た学生が生活しています。皆で一緒に料理をしたり、時々、BBQやパーティーも行われます。寮で勉強することが多かったため、皆で勉強したり、友達という時間がとても多く、寂しいと感じることはありませんでした。
<b>交友関係</b>	私のルームメイトの香港人の学生や、チュニジア人の学生と常に一緒にいました。また、学校のプログラムでConversation Partnerというプログラムがあり、そこでネイティブの学生達と友達になり、毎週、車で色々な場所に連れて行ってもらっていました。
<b>困ったこと、大変だったこと</b>	大変だったことは、寮の友達と大きな喧嘩をしたことです。日本ではあまり喧嘩をしたことがありませんでしたが、文化が違うため、いたいことをはっきり言い、思い切り喧嘩をしてしまいました。あのときは、とても大変でしたが、今ではいい思い出になりました。
<b>学習内容・勉強について</b>	授業が始まったばかりの頃は、先生の言ってることを聞き取るのに必死でした。そのため、先生に質問に行ったり、図書館で夜遅くまで勉強をしました。
<b>課題・試験について</b>	私は、試験よりも課題が中心の授業を多くとっていたことから、期末期間が特別大変ということではなく、常に宿題に追われていました。しかし、好きな授業をとっていたので自分の英語力と知識のためだと信じて頑張ることが出来ました。

大学外の活動について	ボランティア活動に参加していました。内容はフードバンクという、貧しい人に食料を配給する活動です。日本ではこのような活動をしなかったこともあり、とても興味深かったです。
留学を志す人へ	留学したら、誘われたらなるべく行ってみることに、できる限り部屋にこもらないこと、沢山の人の話しかけて人脈を増やすことが大切だと思いました。留学生生活をめいっぱい楽しんで意義のある留学生活にしてください。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	授業	お出かけ	お出かけ
	授業	授業	授業	授業	授業		
午後	課題	課題	課題	課題	課題		
	課題	ジム	課題	課題	課題		
夕刻	夕飯	夕飯	夕飯	夕飯	夕飯		
夜	友達と団欒	友達と団欒	友達と団欒	友達と団欒	友達と団欒		